

# 煉瓦下水道場(仙台市)

- 下水道の将来を担う「**明日の下水道人**」の育成
- 門下生(若手職員)が師範(ベテラン職員)から学ぶ
- 座学ではなく、自ら考え、議論し、表現する体験型の研修
- それらを通して**組織、職種を越えたネットワークの構築**



管路維持管理業務



水質検査業務



設備点検

## 業務体験

施設や職場の見学ではなく、他部署の日常業務を実際に「体験」してみる。写真や資料だけではイメージしにくいものを体験しながら学ぶ。自分たちの業務の他部署や他の職種との関わりを知る。

## ディスカッション・プレゼンテーション

テーマを定め、考え、議論し、発表を行う。道場内での発表だけでなく、大学生や市長、副市長へのプレゼンテーション、地元TV番組でのPRなどにも挑戦している。



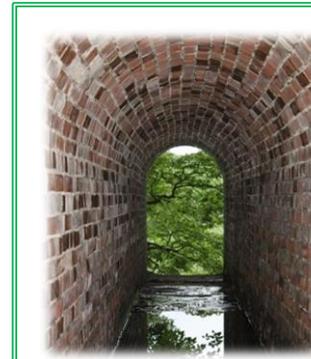
グループワークやワークショップ



インターンシップの学生への職場PRプレゼン



カイゼンアイデアの市長プレゼン



土木学会選奨土木遺産  
「仙台市煉瓦下水道」

## 名称の由来

明治時代後期に建造され、宮城県沖地震や東北地方太平洋沖地震にも耐えた「仙台市煉瓦下水道」から命名。煉瓦下水道のように「長く一線で活躍できるように」との願いが込められている。



## パンフレットの作成

浄化センターの見学や職員採用で実際に使えるようなパンフレットを作成。その作成過程での学習やコミュニケーションを図る。



浄化センター見学ノート



職種紹介パンフレット

煉瓦下水道場の活動内容をまとめた発表が「第52回下水道研究発表会(H27)」のポスター発表セッションで最優秀賞を受賞



仙台市下水道  
マスコットキャラクター  
かんたくん

